



住宅産業新聞
Housing Industry News

発行所 住宅産業新聞社
発行人 宮村昭広
〒160-0022 東京都新宿区新宿6-28-8
ラ・ベルテイ新宿1101
TEL (03)6233-9611
広告 jutaku@housenews.jp
https://www.housenews.jp
©住宅産業新聞社 2023

《ユーザー版》
無 料



自宅での「おうち時間」楽しもう

INDEX

- 2 セキスイハイム 1
- 3 2023年の地価公示
- 4 大和ハウス工業
- 5 大事な住宅の断熱化、寒いと感じなくても健康に影響
- 6 積水ハウス
- 7 EV購入時の住宅環境調査結果
- 8 三井ホーム
- 9 旭化成ホームズ
- 10 パナソニックホームズ
- 11 東急Re・デザイン
- 12 ミサワホーム
- 13 住友林業
- 14 ポラスグループ
- 15 セキスイハイム2
- 16 【レシピ】春らしいやさしい味 "新じゃがと空豆のくるみ和え"

「三寒四温」というが、一時的に気温が下がっても、時を経るごとに概ね暖かさが勝っていく季節が春。今年の桜前線は記録的な速さで北上しており、今頃は札幌あたりが開花したところだろうか。穏やかな春らしい空の下、町を歩くと何かしら華やいだ感がするの、進入学の児童・生徒、企業の新入社員たち「びかびかの一年生」の初々しい姿が、目に付くからかもしれない。

昨年までコロナに対する高い関心が強すぎ、あまり話題に上らなかつた花粉。だが、今年はスギの雄花の花粉生産量が関東、北陸、近畿、中国地方などにおいて、過去10年で最多となり、花粉飛散量も極めて多いという話。さらには黄砂という伏兵も現れた。コロナ禍はいくぶん収まりつつあるものの、依然としてマスクが手放せない状況が続き、花粉症の人にとって当面辛い時期が続きそうだ。

ここは気持ちを切り替え、自宅での「おうち時間」を楽しもう。例えば食事。今までは、忙しさから食べたいものより、手早くできるもので適当に済ませていたのではなからうか。時間があるから手間もかけられる。今ある食材の中で一番食べたくなる料理は何かを自問してみてもいいかもしれない。

最新のキッチンには、掃除や手入れしやすく美しさが長持ち

理想のプラン実現へ

するコンロやIHヒーター、レンジフードなど設備機器の進化が著しい。さらには、手を触れないで水を出せたり止めたりできる水栓、水が流せるトイレ、外気温に関わらず心地いい室温を保ちながら空気の入れ替えができる換気扇など、コロナ禍においても有効な機能も搭載されてきた。

一方で、コロナ禍を機に新しい家を求める動きも広がってきた。テレワークなど在宅勤務の増加で、本来はくつろぎの場である住宅に「仕事」という機能を付加しようとの考えによる。ただ、住宅メーカー各社は、そこに「省エネ」や「環境」といった特性を合わせることで、より快適な住まい実現につながる提案も行っている。

消費エネルギーを減らすとともに、太陽光発電など創エネで相殺するZEH（ネット・ゼロ・エネルギー住宅）化が進む新築戸建住宅の分野。大手企業には供給する持家の9割を超えるところも出ている。ただ、太陽光発電など再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）の買取価格は下がりつつあり、従来のように売電で返済の一部に充てるメリットは少なくなってきたのも事実。だが、最近の自然災害の多発化・激甚化を背景に、売るのではなくむしろ蓄電して自家消費に充てることで光熱費を削減する方に目を向ける人も増えてきた。

いずれにしても、コロナ禍という非常時下ではあるが、改めて家族のつながりや絆を確認したご家庭も多からう。温めていた理想の住まいのプランを実現へ向けて一歩踏み出してみてもいいかだろうか。



想像してください。 クリーンな太陽エネルギーで 過ごす毎日を。

昼間は、太陽光発電システムで発電した電気で生活。

夜は蓄電池に貯めた電気で暮らす。

セキスイハイムは、昼も夜も、クリーンな太陽エネルギーで過ごす、

エネルギー自給自足の暮らしをご提案します。



世界にまた新しい世界を。 **SEKISUI** 積水化学工業株式会社 住宅カンパニー
A new frontier, a new lifestyle. 〒105-8566 東京都港区虎ノ門2-10-4 (オークラブステータタワー)

私たちセキスイハイムグループは、お客様情報の適正な取り扱いに努めています。下記URLをご参照くださるか、お電話にて窓口までお問い合わせください。
▶ホームページ: www.sekisuiheim.com ▶お問い合わせ先: 0120-369-816

地価公示、住宅地は上昇続く

2023年の地価公示が先日発表され、全国住宅地の地価は、プラスの1・4%だった。2年連続の上昇で、上昇率も拡大した。地価はもともと緩やかな上昇を続けていたが、新型コロナウイルスの影響を受けて21年には弱含んだ。22年にはプラスに戻り、都市部を中心とした上昇傾向が周辺部にも拡大。全国的にもコロナ前の上昇幅に近くなり、大都市圏ではコロナ前を上回る上昇率となった。とりわけ利便性の高い地点のマンション需要が強いのが特徴。住宅地だけでなく、商業地エリアであってもマンション建設のために地価が上昇する傾向がみられている。最も人気の高い中心部だけでなく周辺部にも需要が高まり、全体的に地価を押し上げた。リモートワークも浸透し、戸建てにこだわりがある層にとっては、郊外は魅力がある。自然に近く、都心へのアクセスも良いといった子育て世帯に人気のエリアでも地価が上昇した。

住宅地の都道府県別変動率を見ると、東名阪の三大都市圏はいずれも2年連続の上昇となった。東京圏は2・1%上昇(前年0・6%上昇以下同)、大阪圏は0・7%上

昇(0・1%上昇)、名古屋圏は2・3%上昇(1・0%上昇)。コロナの影響を受ける前の20年1月1日時点では東京圏が1・4%上昇、大阪圏が0・4%上昇、名古屋圏が1・1%上昇だったことから、コロナ前の上昇幅を上回ったことがわかる。国土交通省で成長著しいとする地方四市札幌市、仙台市、広島市、福岡市)は、8・6%上昇

勢いがついている。本来土地価格が高い場合上昇率は低めの傾向が見られるが、23年は地価も上昇率も高いという地点が目立った。富裕層や投資家に人気の希少性の高い地点は、コロナの影響も受けづらく、多くは21年も変動率が下がることはなかった。

例えば、住宅地の最高価格地点は東京都港区赤坂の地点で2・4%上昇(3・3%上昇)だ。価格は1平方メートルあたり512万円。ほかにも希少性が高くブランド力のある地点は、海外投資家からの引き合いも強いこともあり、価格は上昇を続けた。大阪圏の最高価格地点は大阪市福島区福島で7・4%上昇(2・9%上昇)の116万円。名古屋圏では名古屋市中区栄のマンション用の地点で8・3%上昇(12・3%上昇)の170万円だった。マンションの需要が旺盛だが、マンションに適した土地は多くない。そのため地価の上昇を続けた。

福岡市も、天神地区や博多駅周辺など商業エリア近くのマンション用地の需要があり、地価が上昇している。住宅需要は堅調であるため周辺部にも広がる。東京圏では23区以外でも多摩地区や埼玉県、千葉県、神奈川県でも上昇幅の拡大が目立つ。海に近い湘南エリアの地点の価格上昇もある。大阪圏では、大阪市西区を中心とした上昇エ

リアが拡大。名古屋圏は名古屋市中区、東区、熱田区などのほか、刈谷市や安城市も5%以上の上昇となった。しかし住宅地でも上昇している地点ばかりではない。コロナの影響から抜け出せず、依然として地価が下落しているのは、都心へのアクセス性が悪い地点や、エリア全体に産業が衰退している地域の地点などといえる。

富裕層向け地点は価格も上昇率も高く、都心の中でも中心地、希少性の高い地点の価格は上昇に

全国の地価公示(住宅地)変動率 (単位:%)

	23年	22年		23年	22年
北海道	7.6	4.6	兵庫県	0.7	▲0.1
青森県	▲0.3	▲0.5	奈良県	▲0.4	▲0.7
岩手県	0.1	▲0.1	和歌山県	▲1.2	▲1.3
宮城県	4.0	2.8	鳥取県	▲0.3	▲0.5
秋田県	▲0.1	▲0.7	島根県	▲0.4	▲0.5
山形県	0.4	0.1	岡山県	0.4	▲0.3
福島県	0.5	0.3	広島県	0.6	0.2
茨城県	0.0	▲0.4	山口県	0.4	0.2
栃木県	▲0.6	▲0.7	徳島県	▲0.6	▲0.6
群馬県	▲0.8	▲0.9	香川県	▲0.5	▲0.7
埼玉県	1.6	0.5	愛媛県	▲1.0	▲1.1
千葉県	2.3	0.7	高知県	▲0.5	▲0.6
東京都	2.6	1.0	福岡県	4.2	3.2
神奈川県	1.4	0.2	佐賀県	1.2	0.9
新潟県	▲0.6	▲0.8	長崎県	0.6	0.1
富山県	▲0.1	▲0.2	熊本県	1.9	0.9
石川県	1.2	0.6	大分県	1.4	1.0
福井県	▲0.7	▲0.9	宮崎県	▲0.1	▲0.2
山梨県	▲0.6	▲0.7	鹿児島県	▲0.8	▲1.0
長野県	0.1	▲0.2	沖縄県	3.6	2.0
岐阜県	▲0.6	▲0.9	全国	1.4	0.5
静岡県	▲0.5	▲0.8	三大都市圏	1.7	0.5
愛知県	2.3	1.0	東京圏	2.1	0.6
三重県	▲0.2	▲0.7	大阪圏	0.7	0.1
滋賀県	▲0.6	▲0.9	名古屋圏	2.3	1.0
京都府	0.7	0.1	地方四市	8.6	5.8
大阪府	0.7	0.1	地方その他	0.4	▲0.1

国土交通省資料を基に本紙作成

地価公示ってなに？

国土交通省土地鑑定委員会が、毎年「1月1日」時点の標準地の正常な価格を3月に公示するもので、社会・経済活動についての制度インフラとなっています。

2023年地価公示では、26,000地点で実施されました。

主な役割は

- ①一般の土地の取引に対して指標を与えること
 - ②不動産鑑定士の規準となること
 - ③公共事業用地の取得価格算定の規準となること
 - ④土地の相続評価や固定資産税評価についての基準となること
 - ⑤国土利用計画法による土地の価格審査の規準となること
- 等です。



人生をたのしむって、
むずかしいから、
たのしい。

家は、
生きる

場所へ。

くつろぐ、遊ぶ、学ぶだけではなく、
働く、健康になる、夢中になる、年を重ねる…。
住まう人の生き方や、変わりゆく価値観に寄り添い、
その時々以最善の答えをデザインし、お届けする。
家は人生の喜びや幸せを叶え続けられる場所だから。

 Daiwa House®

「断熱性能が高く冬でも温かい住宅は、健康にいい」――多くの方は、よく知っていることと思う。同時に、自分の家でもそんなに寒いと感じたことがないし、ましてやそれで不健康になっているなどとは感じない、という人も多いのではないだろうか。実際のところはどうか。実際のところはどうなのだろう。

一般社団法人日本サステナブル建築協会が、断熱化された住宅と健康への影響を調査しているのデータを見てみよう。

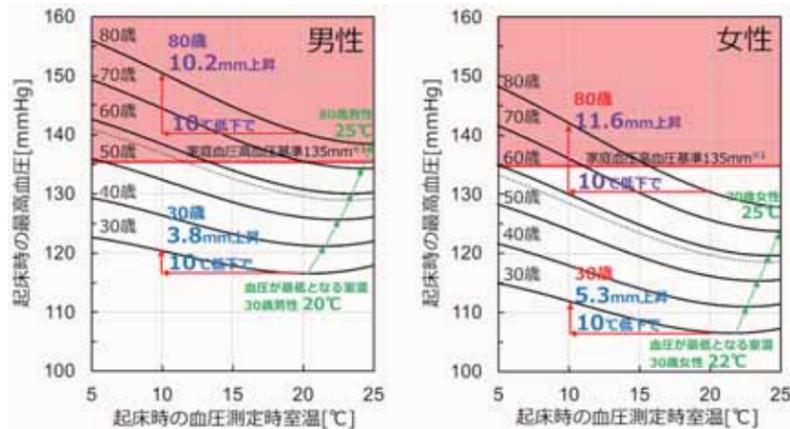
調査によると、室温が世界保健機関（WHO）の勧告する18℃に満たない住宅の居住者では血中脂質の基準値超えが多い。室温実測値と血中脂質の値を分析した結果を見ると、総コレステロール値が基準値を上回る人は、室温が18℃以上の住宅に住む人に比べ、12～18℃の住宅に住む人では1・8倍、12℃未満では1・9倍多かった。

寒い住宅では、心電図の異常所見も多い。室温が18℃以上の住宅に住む人に比べて、12～18℃の住宅の人では1・8倍、12℃未満では2・2倍になった。

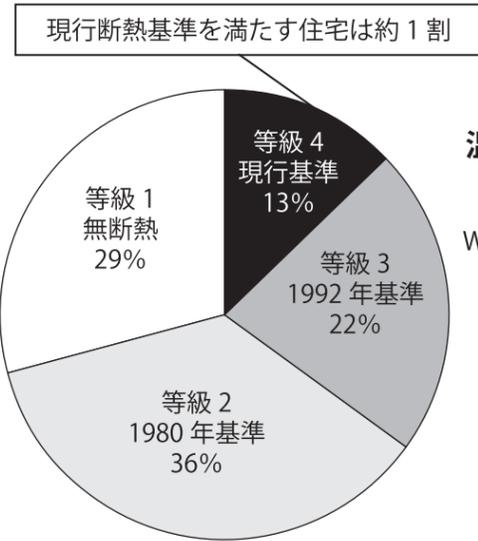
尿意切迫感によって何度もトイレに行くという症候群「過活動膀胱」。この過活動膀胱も就寝前の居室室温と関係していた。18℃以上の場合に比べて15℃以上でも1・23倍、12℃未満では1・44倍あった。過活動膀胱は日本では810万人の人が抱えている症状というから、居室温と

高齢者や女性ほど暖かく

高齢者ほど、女性ほど、室温が低い事による血圧上昇量が大きい。血圧を低く押えるためには、高齢者ほど、女性ほど室温を高く保つことが望ましい。



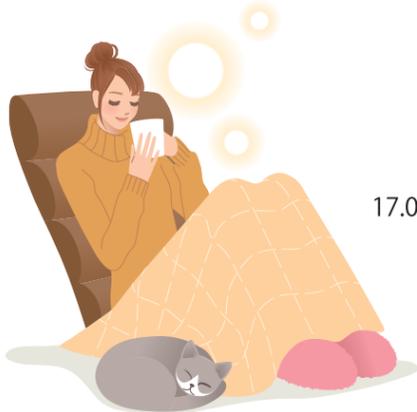
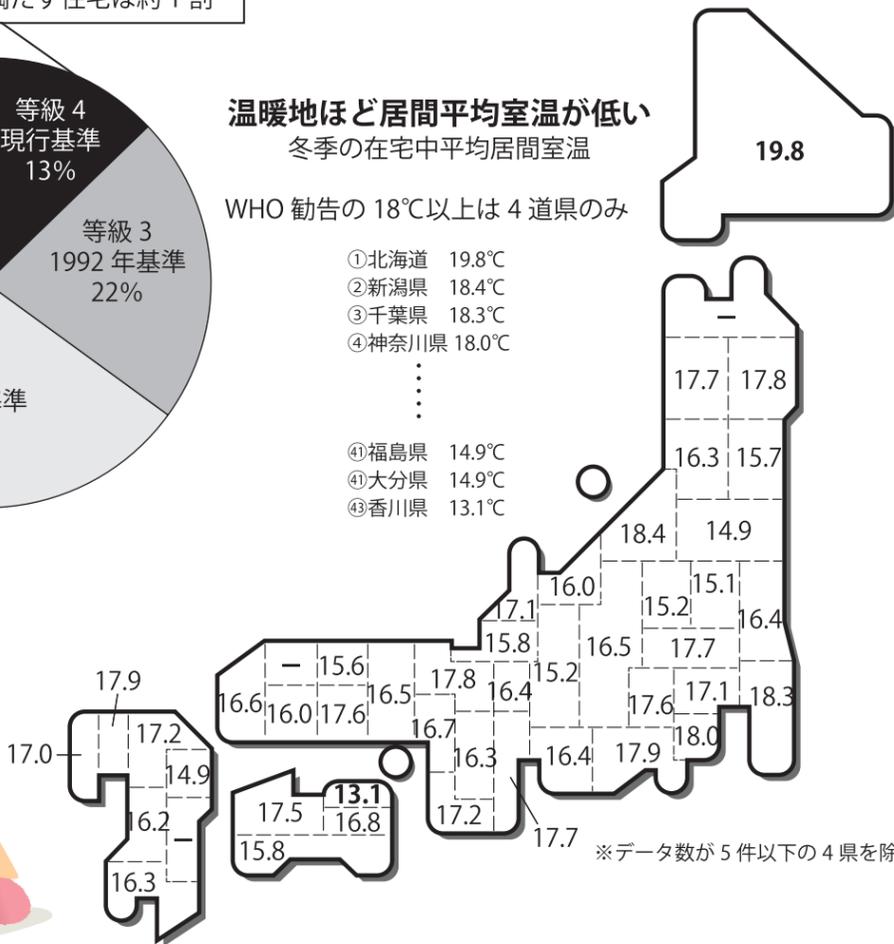
住宅ストック約 5,000 万戸の断熱性能 (2018 年)



温暖地ほど居間平均室温が低い 冬季の在宅中平均居間室温

WHO 勧告の 18℃以上は 4 道県のみ

- ①北海道 19.8℃
- ②新潟県 18.4℃
- ③千葉県 18.3℃
- ④神奈川県 18.0℃
- ④福島県 14.9℃
- ④大分県 14.9℃
- ④香川県 13.1℃



※図は全てスマートウェルネス住宅等推進調査委員会、資料より作成

寒いと感じなくても健康に影響

関連があるということならば、この点は気に留めておきたいところだ。

実際に暖かい家で健康的に暮らす

「めったにない」「全くない」の回答者のいずれの場合も、平均室温は17・7℃とWHO勧告の18℃に至っていない。居室についても、「めったにない」と回答した人の居室の平均室温は12・9℃、「全くない」と回答した人の居室でも13・5℃だった。

それでは暖かい住宅は本当に健康に良いのだろうか。調査では、断熱改修してからのようなことが起きるか、変化も調べた。暖かい住宅に5年間住み続けたことで、最高血圧が2・5ミリ抑制された。脂質異常症を発症する確率も、居室が12℃未満を基準である1とすると、居室18℃以上では0・28となり、半分未満になっていることがわかってきているという。

暖かい住宅に暮らして5年後の変化として、「つまりさき・転倒」の確率も半減する調査が出ている。夜間平均室温が寒冷な住宅（居間の床上1居室室温が19℃未満かつ床近傍が16℃以上）を基準にすると、温暖な住宅（床上1居室が19℃以上かつ床近傍が16℃以上）は0・48。つまり半分以下になっていた。

WHOが勧める冬季でも18℃を満たす住宅は1割のみしかなく、にもかかわらず、室内が低温なのに寒さを感じていない居住者がいるということもわかりつつあるようだ。室内で寒さを感じる頻度を尋ねると、「めったにない」「全くない」と回答した人が、居間で3割、寝室で6割を占めた。

そのときの平均室温は、「めったにない」「全くない」の回答者のいずれの場合も、平均室温は17・7℃とWHO勧告の18℃に至っていない。居室についても、「めったにない」と回答した人の居室の平均室温は12・9℃、「全くない」と回答した人の居室でも13・5℃だった。

寒いと感じていない人に特徴はあるようだ。国内でも寒冷地域と温暖な地域で比較すると、寒い地域で、寒さを申告しない人が多い。またBMIが高い人、またこたつを使用している人も、そうでない人とは比べて寒いと感じていないと回答している人が多かった。

部屋が寒いと感じていないのに、健康に影響を及ぼしている可能性があるとうかがえる。同じ住宅なら、断熱性能が高く、冬でも18℃を維持できる住宅に暮らし、健康的に毎日を過ごせるなら、それ以上越したことはないだろう。



Family Suite

それは、家族の幸せな大空間。



家は

未来へ

つづきます。

住まいの大切さはずっと変わらない。
しかし変わりゆくものもあります。

テレワークなど働き方の変わる時代
ライフスタイルも変わってゆくでしょう。
長い年月とともに家族の暮らしには
ライフステージによる変化も生じます。

積水ハウスの提案する

「ファミリースイート」は

ご家族の「いま」の幸せのために。
そして「未来」の幸せも叶えるために。

「壁のない大空間」でのびのびと暮らす。

家族がほどよい距離感でつながりながら。

こどもたちの成長を見守りながら。

様々な変化にもフレキシブルに対応して。

積水ハウスはこれからも

「いま」と「未来」の幸せを叶える

家づくりに努めてまいります。

家に帰れば、積水ハウス。



充電インフラ整備でEV普及活性化

日産自動車（横浜市西区、内田誠社長）はこのほど、EV（電気自動車）の購入時に重要な住宅環境について調査を実施し、その結果を公表した。同調査は、インターネットで事前調査を行った1万953人のなかから、EVの購入検討者または保有者で、集合住宅に居住する30〜50歳の男女400人に対して行ったもの。



EV購入時の住宅環境を調査

充電環境が普及の鍵に 集合住宅との連携が必要

充電環境が普及の鍵に 集合住宅との連携が必要

同社では充電インフラの整備によってEVの普及がより活性化すると考えており、その要の1つとなるのが住宅の充電設備だと考えている。事前調査では、「EVを購入したい」と回答した人の割合は28・1%であり、2022年1月〜8月までの乗用車全体の販売台数（約63万7千台）に占めるEVの新車販売台数（1万9千台）の割合

（約3・0%）と比べて高い数字となるなど、購入意向の高さが感じられるものとなっている。その一方で、「住環境の影響でEVの購入をあきらめたことがある」と答えた人は25%であり、なかでもEV検討者に絞った場合は、51%という数字となった。そのことから同社では「充電環境の整備は購入意向を高め、EVが普及する鍵となる重要な要素であることがわかる」と結論付けている。

「EVの購入を検討した理由」（Q2）は「環境にやさしいから」（63・0%）が最も多くなっており、次いで「ガソリンが高騰しているから」（51・3%）、「世界的に主流となっているから」（40・

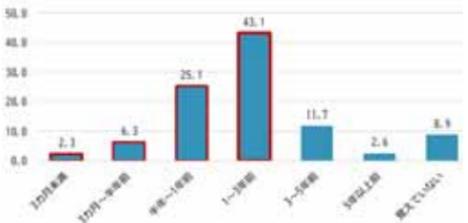
「EVの購入を検討した理由」（Q2）は「環境にやさしいから」（63・0%）が最も多くなっており、次いで「ガソリンが高騰しているから」（51・3%）、「世界的に主流となっているから」（40・

「EVの購入を検討した理由」（Q2）は「環境にやさしいから」（63・0%）が最も多くなっており、次いで「ガソリンが高騰しているから」（51・3%）、「世界的に主流となっているから」（40・

「EVの購入を検討した理由」（Q2）は「環境にやさしいから」（63・0%）が最も多くなっており、次いで「ガソリンが高騰しているから」（51・3%）、「世界的に主流となっているから」（40・

「EVの購入を検討した理由」（Q2）は「環境にやさしいから」（63・0%）が最も多くなっており、次いで「ガソリンが高騰しているから」（51・3%）、「世界的に主流となっているから」（40・

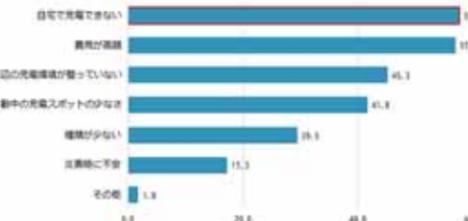
Q1 あなたはいつ頃からEVの購入を検討していますか？（n = EV保有者を除外したEV購入検討者350名、SA）（%）



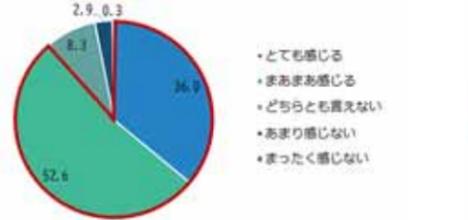
Q2 EVの購入を検討した理由はなんですか？（保有者は購入した理由をお答えください）（n = 400、MA）（%）



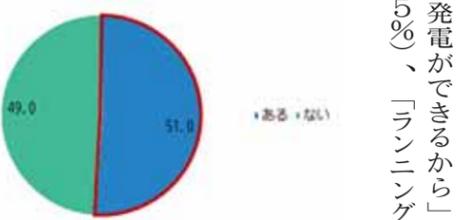
Q3 EVを購入する上で迷うポイント／購入に至らないボトルネックは。（保有者は迷ったポイントを当時を思い出しお答えください）（n = 400、MA）（%）



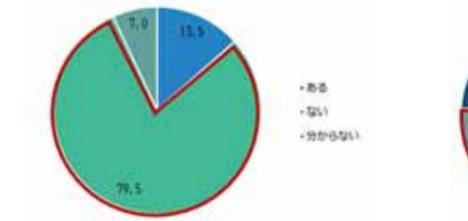
Q4 集合住宅に充電設備がないことでEVの購入が難しいと感じますか？（n = EV保有者を除外したEV検討者350名、SA）（%）



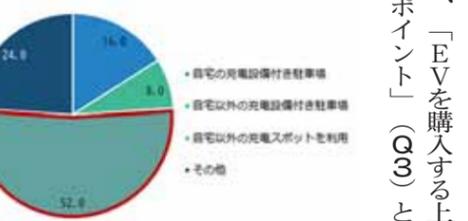
Q5 あなたは住環境（充電設備がない）が理由でEVの購入をあきらめた経験はありますか？（n = 400、SA）（%）



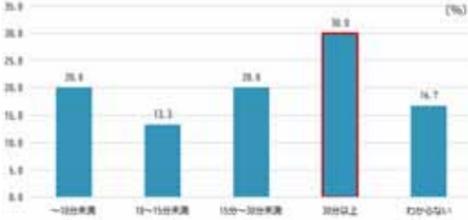
Q6 あなたがお住まいの集合住宅にはEVの充電ができる駐車場はありますか？（n = 400、SA）（%）



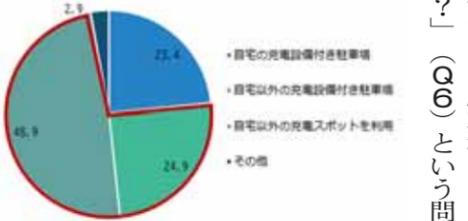
Q7 現在EVはどのような充電方法を行っていますか？（n = EV保有者50名、SA）（%）



Q8 充電スポットまで自宅から徒歩でどの程度の距離がありますか？（n = EV保有者で現在自宅以外の住宅設備を利用する30名、SA）（%）



Q9 あなたがEVを購入する場合、充電場所をどこに予定していますか？（n = 400、SA）（%）



住環境整備を促進
同社では、今回の調査を受けて、「EVに最適化した住環境の整備を推進していくことも自動車メーカーとして重要な課題だと考え、解決に向けて積極的に取り組んでいます。」

「移動中の充電スポットの少なさ」（41・8%）という回答が目立つなど、充電環境がEV購入に大きな影響となっている。さらに「周辺の充電環境が整っていない」（45・3%）、「移動中の充電スポットの少なさ」（41・8%）という回答が目立つなど、充電環境がEV購入に大きな影響となっている。



& EARTH with WOOD

木とともに。

三井ホームは、木とともに成長してきました。
ツーバイフォー工法のリーディングカンパニーとして、
最新のテクノロジーで、木の可能性を広げ続け、
最高品質の住宅をお客さまに届けています。

植生循環のもと厳密に管理された木材を使用し、
国産材などの活用にも積極的に取り組み、
お客さまとともに、持続可能な世界の実現に貢献します。

今では、住宅の枠を飛び越え、
木による大型施設を、日本、そして世界で作り続けています。
安全で快適な、人に優しいすまいとくらしを、これからもっと。

三井ホームは、人と地球に優しい木とともに、
憧れをかたちにします。

お問い合わせは

 0120-94-4331 9:00~18:00
(土・日・祝日を除く)

三井ホーム株式会社 本社

〒163-0453 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル53階

憧れを、かたちに。



三井ホーム



三井不動産グループ
MITSUI FUDOSAN GROUP

HEBEL HAUS

ALL for LONGLIFE

自分らしい生き方に、
住まいを合わせていく時代へ。

価値観やライフスタイルが多様化するいま、

1つの住まいを家族代々住み続ける人もいれば、

マンションから賃貸住宅へ、

戸建住宅からマンションへ、

ライフステージや目的に応じて住み替える人も

いらっしゃいます。

住まいに縛られることなく自分らしい生き方に、

住まいを合わせていく。

そんな自由で豊かな暮らしを実現するために、

わたしたちは、家族のこと、

資産のこと、社会のこと

あらゆることを考え抜き、最適な答を

ご提案いたします。



各種資料のご請求・お問い合わせ先

下記電話番号またはメールアドレス宛にお問い合わせください。

TEL: **03-6899-3010** (土日祝除く9:00~18:00)

FAX: **03-6899-3400**

✉ j-koho@om.asahi-kasei.co.jp

〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105

神保町三井ビルディング7階

旭化成ホームズ株式会社 広報室

※当社個人情報お取り扱いに関しては下記サイトを
ご覧ください。

https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/privacy.html/?link_id=AH_footer28

住宅が欲しい

ロングライフ思想を掲げて半世紀。

良質で長持ちする注文住宅や既存住宅をご提供いたします。



注文住宅

ヘーベルハウス

都市型住宅の先駆者。理想のマイホームを
フルオーダーメイドで建てるができます。



既存住宅

ストックヘーベルハウス

暮らしの安心と快適を実現する
もうひとつの住まいの選択肢です。

部屋を借りたい

高い居住性能と充実した設備を兼ね備えた賃貸物件をご提供。

暮らしにぴったりなお部屋がきっと見つかります。



お部屋探し

ヘーベルメゾン

様々なライフスタイルにあわせた物件を
取り揃えています。



お部屋探し(シニア向け)

ヘーベルVillage^{ヴィレッジ}

介護施設ではなく、自立して暮らせる
シニア向けの賃貸住宅をお探し頂けます。

土地を活用したい

相続税対策や資産形成など、目的にあわせて
最適な土地活用プランをご提案させていただきます。



賃貸住宅

ヘーベルメゾン

高い防災力をもつ安全安心な
賃貸住宅経営。
狭小の住宅地から大規模な
敷地まで対応可能です。



賃貸住宅(シニア向け)

ヘーベルVillage^{ヴィレッジ}

超高齢社会のニーズを捉えた
賃貸住宅経営。
土地活用をととして社会に
貢献できます。



中高層ビルディング

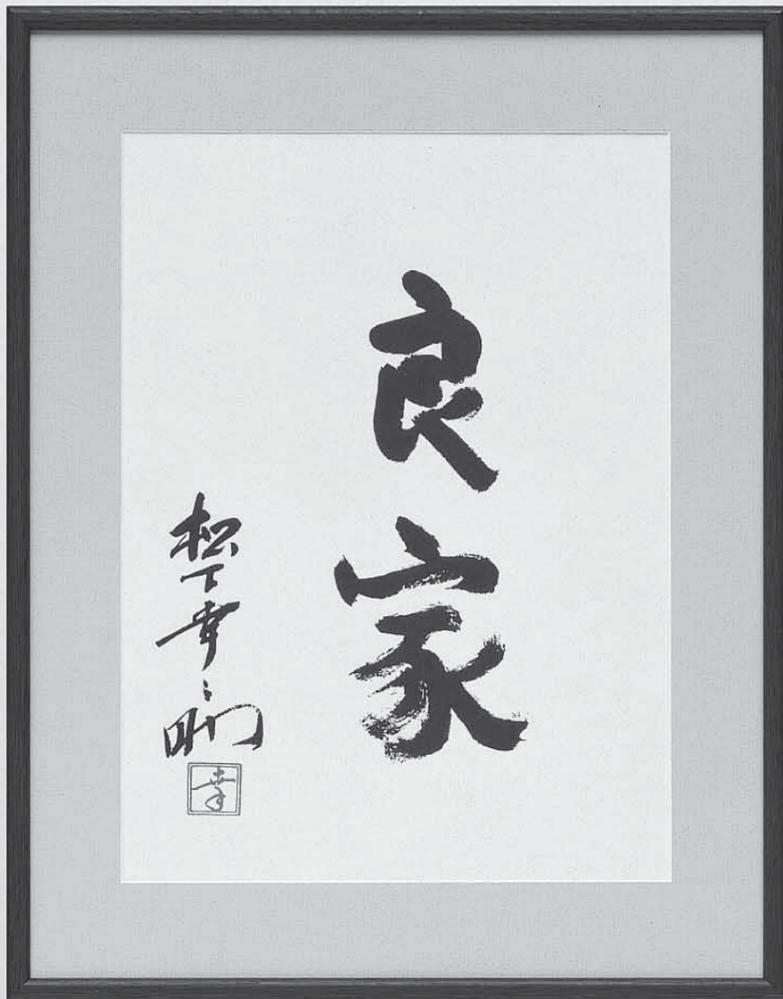
ヘーベルビルズ

最大8階建ての中高層
ビルディングの賃貸経営。
賃貸マンション・店舗・
オフィスなどへ展開可能です。

あなたの誇りを建てる。

Panasonic Homes

原点は「良家」。



1980年7月、当時の最新の技術を結集して建設された「ソーラーハウス」を視察した際、松下幸之助は、その感激と今後の住宅への強い期待を一筆に込めました。

「住まいは人間が生活していく上で最も大切なもの。それにふさわしい良い家をつくりたい」創業者 松下幸之助のそんな想いを原点に、パナソニックホームズは、街へ、世界へと活動の幅を広げています。すべては、人々の幸せのために、これからの社会のために。

戸建住宅

「強さ」と「暮らしやすさ」の探究で災害から家族を守り、健やかに心地よく暮らし続けられる安心の住まいを。



カサートプレミアム

土地活用

大切な土地資産をあなたのために、街のために生かし、次世代に誇りを持って継承できる持続資産に。



賃貸併用住宅 / イルデュノール(神奈川県)

複合開発・分譲

これからの社会や環境を見つめ、人々の交流や笑顔にあふれ地域に活力と新しい魅力を与える街を。



グローバルビレッジ津雲台(大阪府)

リフォーム・不動産流通

人生を楽しむリフォームや価値をつなく不動産売買や管理で、住まいを社会の共有財産として生かして。



古民家リノベーション / Wさま邸(岐阜県)

海外事業

健康・快適を育み、その国に新しい暮らしの価値を生み出す住まい、持続可能な未来をめざす街づくりを。



SAVASA(インドネシア)



これまでの感謝を、これからの挑戦に。

パナソニックホームズ株式会社

homes.panasonic.com

WE ARE GREEN  東急不動産ホールディングス

私たちの暮らしを、
わかってくれてる気がします。

最初は不安だったんです。リフォームするのもはじめてでしたし。

でも、担当の方が親身になって話を聞いてくれました。

友人を招きやすい広めのリビングに、夫婦の趣味の部屋をつくったりと、

これからの私たちの人生を、私たちよりも考えてくれたんじゃないかな。

おかげで理想の住まいというより、理想の暮らしが実現しました。

話そう、リフォームのこと。  東急Re・デザイン

お問い合わせ 0120-935-109

※お問い合わせの際は「住宅産業新聞を見た」とお伝えください。

リデザ

検索



MISAWA

防災・減災住宅は、ミサワホーム。

ちょっとした揺れなのに、過剰に反応してしまう。豪雨のニュースに、家や家族が心配になる。

ミサワホームは、災害大国・日本のご家族に、ひとつ上の安全・安心をご提案します。

平常時から災害発生時、発生後まで3段階の防災・減災ソリューション「MISAWA-LCP」。

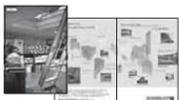
ふだん快適に暮らせる住まいが、そのとき、避難所としての役割を果たしてくれます。

- 1st SAFETY SOLUTIONS 備えるデザイン
- 2nd SAFETY SOLUTIONS 守るデザイン
- 3rd SAFETY SOLUTIONS 支えるデザイン

MISAWA-LCP

備える▶守る▶支える[防災・減災ソリューション]

MISAWA
Life
Continuity
Performance



先進の防災・減災ソリューションを詳しくご紹介した「MISAWA-LCP」カタログを差し上げます。

HP ホームページ www.misawa.co.jp/catalog/ ハガキ(住所・氏名・年齢・電話番号を明記)
〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 私書箱6111号 ミサワホーム株式会社「LCP」K係

※当社では、お客様の個人情報を、建築・リフォーム工事、不動産取引に関する情報・サービス案内のお届け、訪問、各種プランのご提案、アンケート調査等の実施目的で利用いたします。その他詳細は、www.misawa.co.jp/privacyをご覧ください。

詳しくはWEBで

住まいを通じて生涯のおつきあい

新しい暮らしをデザインします **ミサワホーム**

価値と快適をデザインします **ミサワリフォーム**

賃貸経営から介護・福祉事業
複合土地活用まで **ミサワ資産活用**

Good Neighbor Wood

森と人は、良き隣人になろう。

もっと高く、もっと速く。

何と競っていたのだろうか。

世界が成長することは、二酸化炭素を出すことでした。

ここから変わる。

木から離れた人間は、もう一度木に戻る。

二酸化炭素を減らすには、木の力が本当に必要だから。

森と良き隣人になろう。

木の力と人の力で、互いに長く生きてみよう。

それは今あなたが思う幸せに、

案外近いのではないだろうか。

木と生きる幸福

 住友林業



その木は、広いリビングも
中庭もかなえられる、
と教えてくれた。

体感すまいパーク越谷

イメージ超える、ワクワクがある。
ポラスの体感すまいパーク

- 船橋
- 柏
- 東浦和
- 越谷



2023.4.21(金) ~ 2023.6.20(火)

フェア
特設サイトは
こちら



住まい価値創造企業

POLUS

ポラスグループ

ポラスの注文住宅

ポラス株式会社 埼玉県越谷市南越谷1-21-2 TEL048-989-9119



目指すのは
全邸、最高品質。
工場にしかできない
家づくりをやるろう。

家の大半を
雨に濡れない屋根の下で
大切につくる。

セキスイハイムは、家づくりの大半を工場で行っています。

工場内では部材や躯体を雨に濡らすことなく、安定した作業環境を維持。

大型機械などの先進技術を駆使し、工程別の管理や品質チェックを

人と技術の力を組み合わせながら行います。

この独自の生産方法で、全ての邸でいちばんの品質を目指します。



世界にまた新しい世界を。 **SEKISUI** 積水化学工業株式会社 住宅カンパニー
A new frontier, a new lifestyle. 〒105-8566 東京都港区虎ノ門2-10-4(オークラプレステージタワー)

私たちセキスイハイムグループは、お客様情報の適正な取り扱いに努めています。下記URLをご参照くださるか、お電話にて窓口までお問い合わせください。
▶ホームページ: www.sekisuiheim.com ▶お問い合わせ先: 0120-369-816

春らしいやさしい味 新じゃがと空豆のくるみ和え



＜材料＞4人分

新じゃがいも 150g
ソラマメ 50g
くるみ(むきみ) 50g

A
醤油 大さじ1
みりん 大さじ1
砂糖 少々
塩 少々

＜作り方＞

①ソラマメは塩少々(分量外)を加えた湯で手早くゆで、氷水にとってさらし、皮をむく。

②新じゃがいもは皮ごと串が通るくらいゆでる。

③くるみはすり鉢に入れ、粒々が少し残るくらいまでする。

④③にAを混ぜ、1の水気を絞って加え、よく和える。

くるみは生だと空煎りしないといけないので、おつまみ用の加熱ナッツを使用するとよい。
塩味などが付いていたら湯でサッと洗って使う。



レシピ提供：Dreamia Club (クリナップ株式会社)
監修：田中怜子クッキングスクール好調 中村奈津子

＜Dreamia Club＞

キッチンメーカークリナップが運営する、食と暮らしの情報サイト。日々のお弁当や食事作りに役立つレシピやすてきな暮らしのヒント、食や暮らしの専門家の講座・イベント情報がたっぷり。また、お料理や食空間を彩ることを自宅などで、サロン形式で主催する“サロナーゼ”の日本最大級の情報サイト。http://dreamiaclub.jp

読者アンケート

ハガキの場合 官製ハガキ等の宛先欄に下記①を、裏面に②アンケートを貼付の上、ポストへ投函してください。

メールの場合 アンケート内容を jutaku@housenews.jp へ送信してください。

※切手代・送料・通信料等は全てお客様でご負担願います。

＜個人情報について＞

個人情報は、住宅産業新聞社の事業目的にのみ使用し、本来の事業以外の目的でお客様のデータベースを使用することはありません。但し、カタログご希望の場合の個人情報は、ご希望された企業に提供した上で、カタログ送付・ご連絡等をさせていただきます。

〒160-0022
東京都新宿区新宿6-28-8
ラ・ベルティ新宿11F

(株)住宅産業新聞社
読者アンケート係 行

アンケート

①この新聞の入手先は？

①展示場 ②金融機関 ③ショールーム ④HP ⑤その他

②マイホームを購入する上で、知りたい情報は何か？

③興味をもった記事があれば教えてください。

④広告掲載企業のカatalogご希望の場合は、企業名をご記入ください。

④ご職業は？

①会社員 ②公務員 ③自営業 ④主婦 ⑤その他

氏名 (歳)

住所 〒

☎

2023.4.19

住宅産業新聞電子版

いつでも、どこでも
パソコンやスマホ・タブレットで
住宅産業新聞を
購入・購読することができます。



最新号はこちら



毎週火曜日
発行



編集部からのお願い

この新聞は、マイホーム購入をお考えのユーザーの皆様向けに無料で配布しているフリーペーパーです。

貴社・貴所にご来店されるお客様にご自由にお取りいただける場所に置いていただければ幸いです。

また、お届けする部数を増やすなどのご要望がございましたら、右記までご連絡をお願いします。

問い合わせ先 住宅産業新聞社

TEL: 03-6233-9611
jutaku@housenews.jp